

建物超寿命化支援企業の
株式会社シゲル・コーポレーションが
毎月発行する瓦版です

NEO

60th
Anniversary

★当社が協賛するBSNラジオ番組『石塚かおりのBrand new day』内にて
内容リフレッシュして、引き続き当社ラジオCMオンエア中! (毎週火曜日7:15~8:54内)

★BSN TV朝の情報・報道番組『THE TIME』内にて
当社お天気フィラーTVCMをリニューアルして放映中! (毎週月曜日6時30分頃)

【建物超寿命化支援企業】株式会社シゲル・コーポレーション社長の増村文武です。
桜の開花とともに、本格的な春の到来♪ 世の中的には新年度の4月がスタートいたしましたが、いきなりのトランプ関税ショックにより国内そして世界中が右往左往、戦々恐々としておりますね

さて、当社も3月21日より第61期目の企業活動がスタートいたしました。12月には創業満60周年を迎える当社ですが、4月19日には全社員出席による2025年度経営計画発表会を実施し、気持ちも新たに新年度をスタートすることができました。

引き続き当社の社会にとっての存在意義である『建物超寿命化支援企業』としての誇りを社員全員が胸に置いた上で、社員一人一人の強みをいっそう磨き高め、お客様のお役に立てるように精進してまいります。

新年度も、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

▲当社の2025年度版
経営計画書が完成しました!

今月のトピックス

I. 2025年度

「全社会議」経営計画発表会

II. アロン調査診断・

防水管理士検定試験を社内で実施

II. アロン調査診断・

防水管理士検定試験を社内で実施



▶ 伊勢様、清家様、長谷川様



▶ アロンウォール・アロンコートSQの教材

東亞合成株式会社の清家様を講師にお招きし、アロン調査診断・防水管理士検定試験を社内で実施しました。

今回、社員が10名合格しました。

I. 2025年度「全社会議」経営計画発表会

4月19日 アートホテル新潟駅前にて2025年度「全社会議」経営計画発表会を開催致しました。経営計画発表会では、昨年度の成果を振り返るとともに、さらなる飛躍を目指して新たな経営方針を共有いたしました。また、辞令交付では新たな役職を任命し、それぞれの責任と期待を改めて確認しました。今回、現場特別表彰（中央卸売市場青果棟屋上防水改修工事）が授与され、現場代理人が表彰を受けました。現場での努力や工夫、チームの結束が成果として認められることは、今後の現場全体の士気向上にもつながると期待されます。今後も全社員が一丸となり、より高い目標に向かって挑戦し続けてまいります。



▲現場特別表彰（中央卸売市場）



▲辞令交付

荻昌弘さんを愛してやまない 俺ちゃんのシネマコラム

連載第83回 今月のテーマ

『ピックアップ俳優：ジェyson・ステイサム 編』



自称、シゲル・コーポレーション内で一番の映画好き、増村文武です。

いよいよ大阪万博EXPO2025が開幕🎉 今回の万博テーマは『いのち輝く未来社会のデザイン』だそうです🌈
当社も6月、2班に分けて大阪万博視察の社員研修旅行を実施します👉

すでに相当、技術的な成熟感がある現代、例えばあと50年後の未来技術ってちょっと想像ができませんが、我々の心が物質的な豊かさのみを追求することからまた一歩大人に進化した上で、地球環境を本当の意味で守る技術がもっともっと発展していくことを切に願います🌟

さて、今回のテーマは、『ピックアップ俳優：ジェyson・ステイサム 編』と題しました💡 ブレイクから20年以上経過し、現在映画界で引っ張りだこ、そして風貌がまったく変化しない永久不滅型無双ヒーロー、ジェyson・ステイサム様の登場です👉 ブレイクが決定的となったのは今回御紹介する『トランスポーター』なわけですが、その後のどの作品でも一貫して貫くトレードマークの無精髭と、一見ニヒルながら実は情に流されやすいキャラが実にお似合いなのです💖 もちろんクレッキレのアクションが彼の最大の持ち味ということで、いつもフルロットルでヒット作を連発、巨大鮫メガロドンとの死闘を描いた『MEG』シリーズや、途中より参戦した『ワイルド・スピード』シリーズなど、人気作品は数え切れずですね🎵 今回は、特に私が大好きな彼主演の3作品をピックアップして御紹介👉



★今月は写真(イラストはお休み)

『我が家の近くの裏の海(黄昏時)』

📺 No.244 『トランスポーター (2002年 フランス・アメリカ映画)』

ジェyson・ステイサムを世に知らしめた記念すべき1本👑 一匹狼的なプロの運び屋が巻き込まれるトラブルを描いたスタイリッシュなアクション映画👉 主人公のフランクは、高い報酬のかわりに必ずどんな物も時間厳守で目的地まで運ぶことを仕事としているプロの運び屋👉 自身にも契約の厳守、依頼者の名前は聞かない、依頼品を開けないという3つのルールを課しながら仕事を請け負ってきましたが、ある組織から頼まれたバッグを運ぶ最中に中身が動いていることに気づき、自身のルールを破って中身を空けてしまいます😱 すると中には、拘束された中国人の女性が入っていて...本作は『TAXI』シリーズの監督リュック・ベッソンが製作・脚本を手掛けているため、何とんでもカー・アクションが一番の見所👉 相棒である黒のBMWを操るフランクのスマートで天才的な運転技術が素晴らしい👉 そして彼は過去に、ある特殊部隊に所属しており格闘技術にも精通👉 まさにフランク役に適役なステイサムのスーツ姿もたまらなく格好良い1本👉 水泳の高飛び込みでイギリス代表チームに所属していたこともあり、筋力抜群のアクションは納得の説得力です👉

📺 No.245 『キラー・エリート (2011年 アメリカ映画)』

英国特殊部隊SASの隊員だったラナルフ・ファインズ原作の小説を映画化👉 リアリティを追求し、かつスリラー色の高い1本👉 主人公であるプロの傭兵・殺し屋ダニー役をジェyson・ステイサム、ダニーを追い詰めるもう一人の殺し屋スパイク役をクライヴ・オーウェン、そしてダニーにとってかけがえのない盟友ハンター役をロバート・デ・ニーロが演じる、豪華キャストな1本👉 1980年代、ダニーはかつての傭兵としての仕事に見切りをつけ、恋人と郊外で静かに暮らしていましたが、ある日彼の元に相棒であったハンターが人質となった写真が送られてきます👉 彼を拘束したオマーンの族長から要求されたのは、族長の息子たちを殺害した元SASの隊員3人を事故に見せかけて暗殺せよ、という無茶な指令👉 やむをえずダニーはかつての仲間2人とともに3人の暗殺の準備に取り掛かかりますが、謎の組織・フェザーメンから送り込まれた凄腕プロの殺し屋、スパイクが、ダニー達を阻止すべく行く手を阻むのでした… ラスト、椅子に縛られたまま反撃するステイサムの絶体絶命アクションが凄すぎ👉 ロバート・デ・ニーロの熟練した銃さばきもサマになりすぎて流石👉

📺 No.246 『ビーキーパー (2024年 アメリカ映画)』

こちらは最新作の1本👉 ちなみに『ビーキーパー』とは養蜂家という意味ですね👉 アメリカ郊外の田舎で、養蜂家としてひっそりと生活を送っている謎めいた男アダム👉 ある日、彼の恩人であった老婦人がフィッシング詐欺に遭い、全財産をだまし取られてしまいます👉 絶望し自死を選んだ彼女を発見したアダムの中で怒りが爆発👉 詐欺グループの巨大組織に、単身乗り込んでいくのでした👉 彼は、実は過去に秘密組織”ビーキーパー”に所属していた凄腕プロの殺し屋👉 敵方の組織だけでなく、彼を追う地元警察、FBI、CIA、そして彼を暗殺すべく要請されたビーキーパーの同胞まで入り乱れ、混沌とした大乱闘が繰返されることに… 本作はまさにステイサム定番の王道キャラ設定👉 前段の文章でも記させていただいた通り、無精髭全開、無口でニヒルながら実は情に流されやすく男臭い役柄設定を今回も見事に演じきっておられます👉 さらに、本作のステイサムはいつも以上に強い×強い👉 無双感が半端ありません👉 ベテラン名優ジェレミー・アイアンズが敵方のアドバイザー役で出演👉 ステイサムと対峙しながら作品の脇固めをしてきてます👉

もし御興味が沸いてきましたら、皆様もぜひ一度御鑑賞を (^_-)-☆